

水系内装用 結露防止 合成樹脂エマルジョン模様塗料 [珪藻土配合]

# スズカ防露





# スズカ防露

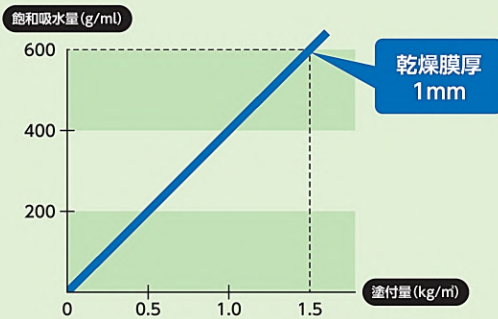
ホルムアルデヒド放散等級  
F☆☆☆☆  
内装仕上げの制限なし

近年の建築物は、気密性が高く、梅雨時期には室内や押し入れがじめじめしたり、冬場には結露を生じたりすることがあります。

スズカ防露は、湿度が高いときには湿気を吸収し、湿度が低いときには湿気を放出する調湿性能があり、優れた防かび性能も兼ね備えた塗膜は快適な生活環境を創り出します。

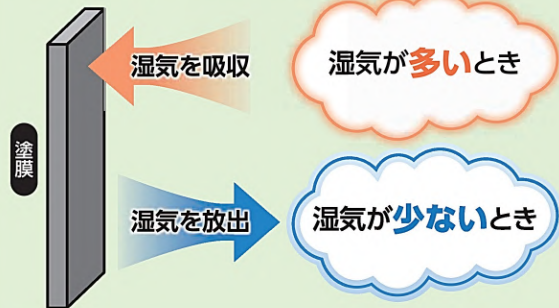
## ① 吸水性能

1mmの乾燥膜厚で、1㎡当たり600mlの水を吸水し、結露を防止します。



## ② 調湿性能

塗膜のもつ吸放湿特性により、湿度が高くなると湿気を吸収し、逆に湿度が下がると湿気を放出して、室内の湿度を調整します。



## ③ 防かび性能

安全性の高い防かび剤の配合で、優れた防かび効果と防かび持続性を示します。

試験方法 JIS Z 2911かび抵抗性試験方法

試験期間 4週間(通常、塗料の場合は1週間)

### 試験菌

アスペルギルス ニゲル  
ペニシリウム ピノヒルム  
クラドスポリウム スファエロスペルマム  
オーレオバシジウム プルランス  
トリコデルマ ビレンス

## ④ 防火材料

国土交通大臣認定の防火材料です。  
〔該当仕様:さざなみ仕上げ、平滑仕上げ〕

国土交通大臣認定	
認定番号	区分
NM-8572	不燃材料
QM-9812	準不燃材料
RM-9361	難燃材料
有機質砂壁状塗料塗り	

## ⑤ 塗膜物性

JIS A 6909「内装薄塗材E」の品質に適合しています。(社内試験)

試験項目	結果
JIS A 6909試験	内装薄塗材Eに適合
耐凍結融解性	80サイクル合格
かび抵抗性	0(菌糸の発育なし)
耐湿性B法	合格

## ⑥ 安全性

VOC(揮発性有機化合物)成分をほとんど含みませんので、安全性が高く、環境にやさしい塗材です。



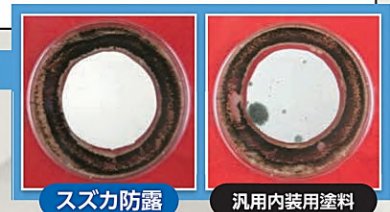


テクニカルデータ JIS A 6909 薄付け仕上塗材 内装薄塗材Eおよびその他に準じる

試験項目	結果	試験方法
低温安定性	合格	塊がなく、組成物の分離及び凝集がない。
初期乾燥によるひび割れ抵抗性	合格	ひび割れがない。
付着強さ N/mm <sup>2</sup> 標準状態	1.1	0.3以上
耐洗浄性	合格	剥がれ及び摩耗による基板の露出がない。(往復300回)
耐アルカリ性A法	合格	ひび割れ、剥がれ、膨れ及び軟化溶出がなく、浸さない部分に比べて、くもり及び変色が著しくない。
耐変色法	合格	ひび割れ及び剥がれがなく、変色の程度は、グレースケール3号以上とする。
耐湿性	合格	JIS A 6909 7.23 耐湿性試験による。 ひび割れ、剥がれ及び膨れがない。
耐凍結融解性	80サイクル合格	ASTM C 666-75による。(北海道立寒地建築研究所にて試験)
かび抵抗性	0(菌糸の発育が認められない)	JIS Z 2911かび抵抗性試験方法による。
飽和吸水量 [g/ml・24h]	600	乾燥膜厚1mmでの1㎡当たりの吸水量  JIS Z 0208に準じる 透湿度条件A
透湿度 [g/m <sup>2</sup> ・24h]	1,100	
透湿抵抗 [m <sup>2</sup> ・h・mmHg/g]	0.46	
透湿抵抗 [m <sup>2</sup> ・s・Pa/ng]	2.22×10 <sup>-4</sup>	
透湿係数 [g/m <sup>2</sup> ・h・mmHg]	2.01	
透湿比抵抗 [m <sup>2</sup> ・h・mmHg/g]	0.56×10 <sup>3</sup>	
透湿率 [g/m <sup>2</sup> ・h・mmHg]	1.80×10 <sup>-3</sup>	

かび抵抗性の比較写真

- 試験方法: JIS Z 2911かび抵抗性試験方法 ■試験期間: 4週間(通常、塗料の場合は1週間)
- 試験菌 : アスペルギルス ニゲル、ペニシリウム ピノヒルム  
クラドスポリウム スファエロスペルマム、  
オーレオバシジウム プルランス、トリコデルマ ビレンス



標準施工仕様

工程	塗材	調合(重量比)	標準所要量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数	間隔時間(23℃)	施工方法
----	----	---------	-----------------------------	-----	-----------	------

●モルタル・スレート板・せっこうボード下地の場合

1	下地調整	●下地は十分に乾燥させる。(含水率10%以下、pH10以下) ●ごみ、汚れなどの付着物を除去して清浄な面とする。 ●木ねじ、釘などで防錆処理がされていない箇所はさび止め塗料を塗付する。					
2	下塗り	スズカ防露プライマー 清水	100 10~30	0.07~0.11	1	2時間以上	はけ塗り、スプレー塗り ウールローラー塗り

●鉄板・亜鉛鉄板・アルミニウム板・ステンレス板下地の場合

1	下地調整	●サンダー、ワイヤーブラシ、サンドペーパーなどで、さび、黒皮などを除去する。(2種クレン程度) ●水分、油分などの付着物は完全に清拭する。					
2	下塗り(さび止め塗り)	ワイドさびストップ 塗料用シンナー	100 0~5	0.18~0.24	1~2 ※注	(工程内) 8時間以上 (工程間) 24時間以上	はけ塗り、スプレー塗り ウールローラー塗り

※注 鋼板の場合は必ず2度塗りしてください。

使用可能さび止め…エポプラ、エポマイルド、さびストップ、ワイドさびストップ、1液ワイドさびストップ

●さざなみ状仕上げ(ローラー工法) 《防火材料該当仕様》

3	上塗り	スズカ防露 清水	100 0~1	0.9~1.1	1	最終養生 24時間以上	パターンローラー塗り
---	-----	-------------	------------	---------	---	----------------	------------

●平滑仕上げ(吹付工法) 《防火材料該当仕様》

3	上塗り	スズカ防露 清水	100 0~3	0.9~1.1	1	最終養生 24時間以上	リシンガン 口径:3.5~5.0mm 吹付距離:40~60cm 吹付圧:0.4Mpa
---	-----	-------------	------------	---------	---	----------------	--

●ゆずはだ仕上げ(吹付工法)

3	上塗り	基層塗り	スズカ防露 清水	100 0~3	0.9~1.1	1	リシンガン 口径:3.5~5.0mm 吹付距離:40~60cm 吹付圧:0.4Mpa
	模様塗り	スズカ防露 清水	100 0~1	0.3~0.4	1	最終養生 24時間以上	

用途

建築物の結露防止・調湿

- 1.住宅・マンション等の居室の結露防止・調湿・台所・押し入れ等の結露防止
- 2.店舗・事務所・学校・病院・工場・倉庫及びその他建築物・構造物内の結露防止
- 3.体育館等大型建築物の鉄骨梁・折板裏の結露防止

※公衆浴場、浴室、温水プールや台所等の常時湿度が高くなる箇所や水が直接かかる面への施工はできません。

適用下地

コンクリート・モルタル・PCパネル・ALCパネル・ブロック・スレート・せっこうボード・鉄骨・カラー折板・鋼板・アルミニウム板・ステンレス板

容量

スズカ防露 18kg 白及び淡彩色  
スズカ防露プライマー 18kg 白



## 施工上の注意事項

- 気温5℃以下、湿度85%以上での施工は、造膜性を低下させますので避けてください。
- 折板屋根の裏面(天井部)への塗装では、折板屋根の片面に日光が当たることで、面による温度差が生じ、塗装後に低温の面で結露し、塗料のタレを生じる恐れがあります。結露発生を避けるため、日光の当たり方による温度差が少ない時間帯に塗装し、天井付近で空気が滞留しないよう処置をとってください。
- 強風時や降雨、降雪のおそれがある場合は、塗装を避けてください。
- 下地は養生期間を十分にとり、よく乾燥させてください。(含水率10%以下、pH10以下)
- 汚れ、付着物などは、すべて除去してください。
- 下地調整の精度が仕上がりに大きく影響しますので、下地のひび割れ、巣穴、不陸、ボードのジョイント部などの凹凸は、パテまたはラフトンカチオンSCフィラーで平滑に調整してください。
- 取り付け金具、くぎ類などは予めさび止め塗料で拾い塗りしてください。
- 使用前に塗材はハンドミキサーなどの電動工具を使用し均一に攪拌してからご使用ください。
- 塗材の所要量は遵守してください。使用量が所要量以下ですと塗膜の防露効果が十分発揮されません。また、所要量以上ですと、施工時、流れが生じやすくなります。
- 塗付量、希釈率、吹付条件(口径・吹付圧・吹付距離など)で模様が異なりますので、予め試し吹きで確認し、本施工に入ってください。
- 吹付工法の場合は、エアートランスホーマーを装着して、所定の圧力を厳守してください。
- 吹付操作は、ガンを下地面に対して直角に保ち、吹付圧・吹付距離・運行速度を一定にし、均一に吹付けてください。
- 施工後、塗装器具は直ちに水洗いしてください。
- 乾燥時、塗面に直接風が当たらないように注意してください。
- 養生テープを取り外す時、塗膜も同時に剥がれないようカッターで切り込みを入れ、除去してください。
- カタログに記載されている下地以外の場合や塗替えの場合は最寄りの営業所にお問い合わせください。

## 取り扱い上の注意事項

- 取扱中は、皮膚に触れないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用してください。  
防塵マスク・頭巾・保護めがね・長袖の作業衣・えり巻きタオル・保護手袋・前掛けなど
- 容器から取り出すときに、こぼれないようにしてください。もしこぼれた場合には、布やウェスで拭き取るか、砂などを散布した後処理してください。
- 皮膚に付着した場合には、直ちに多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、医師の診察を受けてください。
- 蒸気、臭いなどを吸い込んで気分が悪くなったときには、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診察を受けてください。
- 目に入った場合には、直ちに多量の流水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだときには、直ちに医師の診察を受けてください。
- 取扱後は、手洗い・うがい・鼻孔洗浄を十分に行ってください。
- 容器は密栓し、40℃以下で子供の手の届かない一定の場所を定めて保管してください。  
特に下記場所の保管は避けてください。  
雨水や直射日光の当たる場所・高温多湿の場所・潮風の当たる場所・凍結の恐れのある場所など
- 臭いは、食料品・飲食物・衣類などに、うつる場合がありますので、作業場所から遠ざけるまたは養生するなど、十分に注意してください。
- 捨てるときには、産業廃棄物として処分してください。

**弱溶剤系・溶剤系塗料**を用いる場合：下記の取り扱い事項に注意してください。

- 引火性の液体ですので、火気のあるところで使用しないでください。
- 吸入すると有機溶剤中毒を起こす恐れがありますから、換気をよくし、蒸気・スプレーミストを吸い込まないよう、保護具を着用してください。
- 取扱作業所には、局所排気装置を設けてください。
- 取扱中は、皮膚に触れないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用してください。  
有機ガス用防毒マスクまたは送気マスク・頭巾・保護めがね・長袖の作業衣・えり巻きタオル・保護手袋・前掛けなど
- 容器から取り出すときは、こぼれないようにしてください。もしこぼれた場合には、布で拭き取って、水の入った容器に保管してください。
- 火災時には炭酸ガス消火器、泡消火器または粉末消火器を用い初期消火をしてください。

注) 各製品の容器には、取り扱い上の注意事項などを記載していますので、必ずお読み頂き、正しく安全にご使用ください。  
製品の詳細な内容が必要な時には、安全データシート(SDS)をご参照ください。SDSは当社ホームページよりダウンロードしてください。



営業本部 ☎510-0101 三重県四日市市楠町小倉1058-4 ☎059-397-2187 FAX059-397-6191  
研究開発本部 ☎510-0851 三重県四日市市塩浜町1 ☎059-346-1116 FAX059-346-4585

札幌支店 ☎0133-60-6311 東京支店 ☎03-5661-2211 名古屋支店 ☎052-411-1255  
大阪支店 ☎072-862-1601 広島支店 ☎082-277-1116 四国支店 ☎0877-24-4621  
九州支店 ☎092-938-0071

取扱店

24/06

URL <https://www.suzukafine.co.jp/>



●このカタログに記載以外の素地や仕様で塗装される場合は、最寄りの営業所にお問い合わせください。  
●このカタログに記載の商品の内容は、改良などのため予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。